

盛岡広域圏におけるスポーツ施設の在り方に関する研究

－スポーツ施設利用調査から－

浅 沼 道 成

1. はじめに

スポーツ基本法¹⁾(2011年)の前文では、「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利であり、全ての国民がその自発性の下に、各々の関心、適性等に応じて、安全かつ公正な環境の下で日常的にスポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、又はスポーツを支える活動に参画することのできる機会が確保されなければならない」と述べられている。また、2012年のスポーツ基本計画²⁾では、

- ①子どものスポーツ機会を充実する。
- ②ライフステージに応じたスポーツ活動を推進する。
- ③住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境を整備する。
- ④国際競技力の向上に向けた人材の養成やスポーツ環境の整備を行う。
- ⑤国際競技大会の招致・開催等を通じた国際貢献・交流を推進する。
- ⑥スポーツ界の透明性、公平・公正性を向上させる。
- ⑦スポーツ界の好循環を創出する。

この基本計画を進めていく上で、多くの課題を解決していく必要があるが、そのなかでもスポーツをする場としての施設の課題が大きいと捉えることができる。特に、スポーツ立国戦略³⁾(2010年)から発信されている「スポーツビジネス」という方向性からも、見るスポーツやスポーツツーリズムなどにおける「スポーツ施設」の在り方が重要な要因と考えられる。最近注目されているスポーツツーリズムによる地域活性化などにおいてもスポーツ施設の価値が見直されている^{4) 5) 6)}。

現在、少子・高齢化やコロナ禍という社会状況の中で、運動やスポーツに対する多くのニーズが顕在化し始めている。基本的に、運動やスポーツをするためにその活動の場が必要である。実際には健康系運動などの場合、自宅や庭、そして道路や公園等といった場所で実施されているのが現状である。また、用具等などを使用する運動やスポーツ教室的な事業においてはスポーツ施設が基本となっている。図1-1-1の令和2年度「スポーツの実施状況等」に関す

1) 文部科学省(2011年)スポーツ基本法

2) 文部科学省(2012年)スポーツ基本計画

3) 文部科学省(2010年)スポーツ立国戦略

4) 日本政策投資銀行他(2020年)スマート・ベニューハンドブック ダイアモンド社

5) スポーツ庁(2018年)スタジアム・アリーナ改革ガイドブック(第2版)

6) 日本スポーツツーリズム機構編(2015年)スポーツツーリズム・ハンドブック 学芸出版社

る世論調査」⁷⁾の結果では、実施場所として、道路 自宅または自宅敷地内が48.0%、公園が32.8%、山岳・森林・海・湖・川等の自然環境が25.7%と上位を占めている。

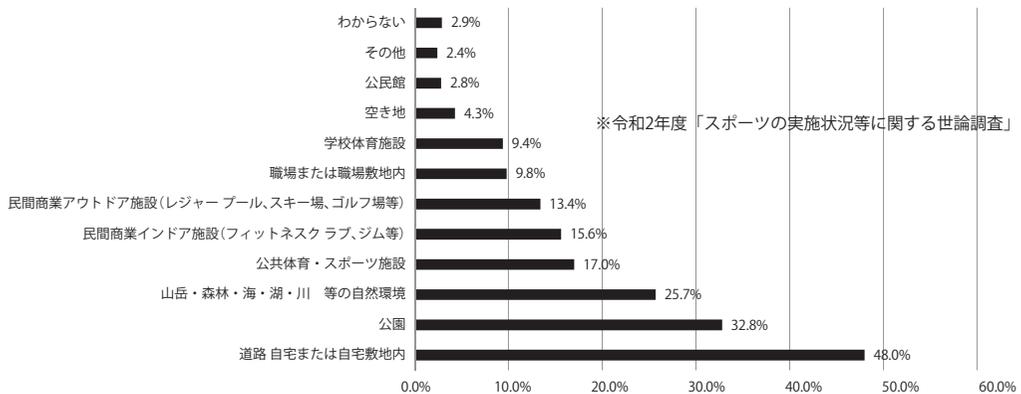


図1-1-1 この1年間に行った運動・スポーツの実施場所（複数回答）N=16358

体育・スポーツ施設に関しては、平成30年度体育・スポーツ施設現況調査⁸⁾（図1-1-2）より、体育・スポーツ施設の多くは学校体育・スポーツ施設（60.4%）であり、続いて公共スポーツ施設（27.6%）となっている。

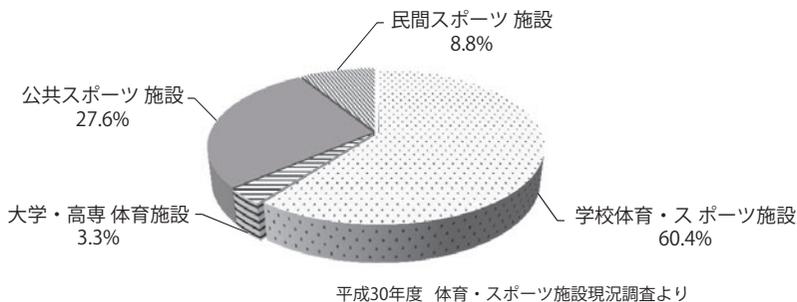


図1-1-2 体育・スポーツ設置施設数 平成30年度 (N=187,184)

しかし、多くの施設はこの50年の間に建築され老朽化が進み、また求められているニーズに対応できない状況にある。国は平成25年11月にインフラ長寿命化計画、平成26年4月に公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針、平成30年3月スポーツ施設のストック適正化ガイドラインを公表し、公共施設の今後の在り方について設置者である行政に見直しをかけてきた。

このような流れの中で、公共施設の広域を視野に入れた再編や広域連携の在り方等の検討がなされている。令和元年度に盛岡広域圏におけるスポーツの適正化配置に関する指針の作成を目的に、盛岡広域スポーツコミッションと岩手大学スポーツユニオンが協働で施設利用状況に

7) スポーツ庁（2021年）平成2年度スポーツの実施状況等に関する世論調査

8) スポーツ庁（2018年）平成30年度体育・スポーツ施設現況調査

関する基礎調査を実施した。

本研究では、基礎調査のデータをもとに、利用者側から公共スポーツ施設の現状と課題を捉え、広域圏における公共スポーツ施設の在り方について検討を進める。その作業から、スポーツ施設利用実態から盛岡広域圏におけるスポーツ施設の在り方について明らかにしていくことが目的である。

2. 研究の方法

①データ

本研究では、盛岡広域圏の盛岡市、八幡平市、滝沢市、雫石町、葛巻町、岩手町、紫波町、矢巾町の8市町の公共スポーツ施設を対象に、その施設を利用した個人や団体に対して施設の職員によって調査票を配布し、それぞれの施設で回収をしていただいた。

調査票は盛岡広域スポーツコミッションと岩手大学人文社会科学部浅沼研究室が連携して以下の4つの対象者用を作成して実施した。

- ・施設利用実態調査票（競技団体用）
- ・施設利用実態調査票（スポーツ少年団用）
- ・施設利用実態調査票（団体利用者用）
- ・施設利用実態調査票（個人利用者用）

②調査の概要

i 調査期間

2019年6月20日（木）～7月23日（火）

ii 調査対象

盛岡広域圏内の公共スポーツ施設（別表）の利用者（団体）

iii 調査手順

- ・施設利用の受付の際に、「調査へのご協力」の依頼をした。
 - #個人利用者1人につき1回の回答
 - #団体利用者1団体・グループにつき1回の回答
- ・調査票は、帰り（施設利用終了時）までに、記入・提出をした。
- ・調査票の回収は、調査期間終了後、盛岡広域スポーツコミッションへ回収した。

iv 調査内容

<競技団体>

- ・団体の基本情報
- ・スポーツ施設の利用状況
 - 大会・強化練習等で利用しているスポーツ施設について
 - その施設を利用する理由
- ・今後に向けたスポーツ施設利用の意向

<スポーツ少年団・団体（グループ）>

- ・団体の基本情報
- ・活動拠点として利用している施設の利用状況
利用目的・利用頻度・希望する日・時間帯の利用状況等

<個人>

- ・個人の基本情報
- ・今回利用した施設の利用状況
利用頻度・交通手段・利用手続き・希望する日・時間帯の利用状況等

<スポーツ少年団・団体（グループ）と個人共通>

- ・概ね1年以内の間に、盛岡広域圏内のスポーツ施設の中で利用したことがある施設について利用頻度（順位）が高い施設から順に施設Noを記入
- ・活動拠点としている施設以外の盛岡広域圏内のスポーツ施設の中で、今後使いたい施設が、ある場合3つ以内を選び、施設Noを記入
- ・利用するスポーツ施設を選ぶ際に重視することを3つまで選択し、優先順位が高い順に番号を記入

v 回収状況

表2-1-1 調査における回収状況

	競技団体			スポーツ少年団			団体・グループ	個人
	回収数	現有数	回収率	回収数	現有数	回収率	回収数	回収数
盛岡市	19	45	42.2%	40	151	26.5%	115	437
八幡平市	6	28	21.4%	12	28	42.9%	1	34
滝沢市	11	27	40.7%	0	20	0.0%	74	116
雫石町	14	26	53.8%	19	26	73.1%	13	24
葛巻町	7	7	100.0%	6	5	120.0%	11	4
岩手町	7	13	53.8%	6	9	66.7%	1	37
紫波町	5	27	18.5%	15	25	60.0%	17	35
矢巾町	10	26	38.5%	16	26	61.5%	16	54
合計	79	199	39.7%	114	290	39.3%	248	741

3. 結果及び考察

3.1 競技団体

①競技団体の利用状況

表3-1-1は、各競技団体が利用している施設に対して、その施設の調整会議への出席状況と実際に希望した施設の利用状況の結果である。N=79であるが、団体によって複数の施設を希望しており、その数が含まれ、合計163の希望団体として表れている。調整会議への出席の有無にかかわらず、希望していた施設の利用が日程等の調整はあったものの「できている(65.0%)」「概ねできている(33.1%)」で98.1%とほとんどの団体が希望通りに利用できている実態が見えてくる。

各市町の加盟団体（主に競技団体）は、年度前に施設利用に関して調整会議が行われ、各市

町の優先順位に基づき調整がなされ、市町の事業以外は加盟団体が優先されていると考えられる。

表3-1-1 競技団体の施設調整会議の出席と施設の利用状況（複数回答） N=79

調整会議への出席	希望する日・時間帯の利用状況				合計
	できている	概ねできている	あまりできていない	NA	
出席している	75	38	2	1	116
	64.7%	32.8%	1.7%	0.9%	100.0%
出席していない	31	16			47
	66.0%	34.0%			100.0%
合計	106	54	2	1	163
	65.0%	33.1%	1.2%	0.6%	100.0%

また、「あまりできていない」と回答した団体は2団体であり、1団体は「利用団体が多く、希望日に使えない」と回答し、もう1団体は「競合団体が強い」と回答していた。

②利用しているスポーツ施設を選択した理由

図3-1-1は、大会・強化練習等で利用しているスポーツ施設を選択する理由を優先順位の高い項目として3つ選択された結果である。選択肢は「交通アクセスの良さ」「利用料金の安さ」「予約の取りやすさ」「駐車場の充実」「競技施設の充実・広さが適当である」「音響（放送）の充実」「観客席の有無」「Wi-fiの有無」「諸室（ミーティング・スタッフルーム）の有無」「ボランティア等の確保のしやすさ」「その他」の11項目であった。もっとも多い項目は70.3%で「競技施設の充実・広さが適当である」、51.4%で「予約の取りやすさ」、50.0%で「交通アクセスの良さ」の順であった。

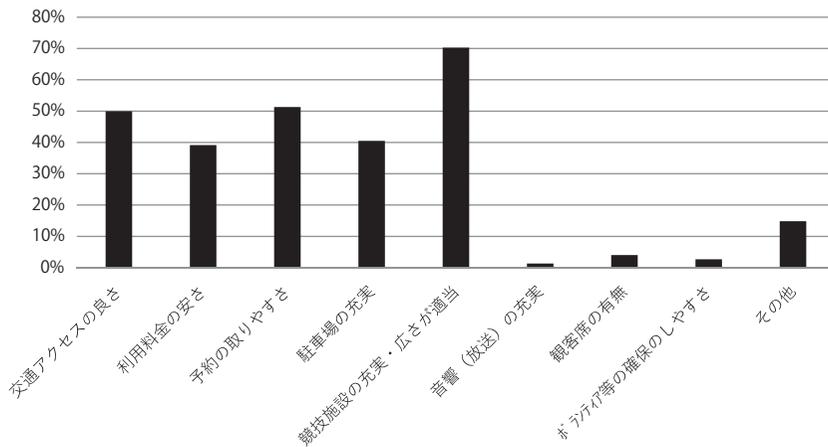


図3-1-1 施設選択理由の優先度（複数回答） N=79

利用団体は競技団体であり、競技大会等に準じた規格等が絡み、利用する施設としてはそれなりの高規格の施設を選択していた。それ以外では施設の「利便性」が大きな利用選択要件となっている。逆に、音響や観客席、Wi-Fi環境などの付帯設備等はほとんど重要視されていなかった。市町や県レベルでの大会の会場や強化練習という利用目的では、全国の大会等開催レ

ベル求めていないので、特に高規格な設備等が重要な要件とはなっていないことが確認できた。すなわち、それぞれの団体のレベルに応じた環境（施設や設備）がそれなりに地元が存在していると考えられる。

③今後のスポーツ施設利用

図3-1-2は、利用を希望する理由を「交通アクセスの良さ」「利用料金の安さ」「予約の取りやすさ」「施設・設備の充実」「その他」の5つの選択肢から選んでもらった結果である。選択理由で第一では、「交通アクセスの良さ」と「施設・設備の充実」が挙げられていた。これは、図3-1-1の結果を踏まえると、競技団体が使用施設を選択する場合は、施設・設備等の充実と交通アクセスの良さが大きな選択要因になっていた。

これらの結果を踏まえると、市町における競技団体は、現状に一応満足しており、今後も大きく広域圏内での移動よりも地元の施設の活用を望んでいると考えられる。

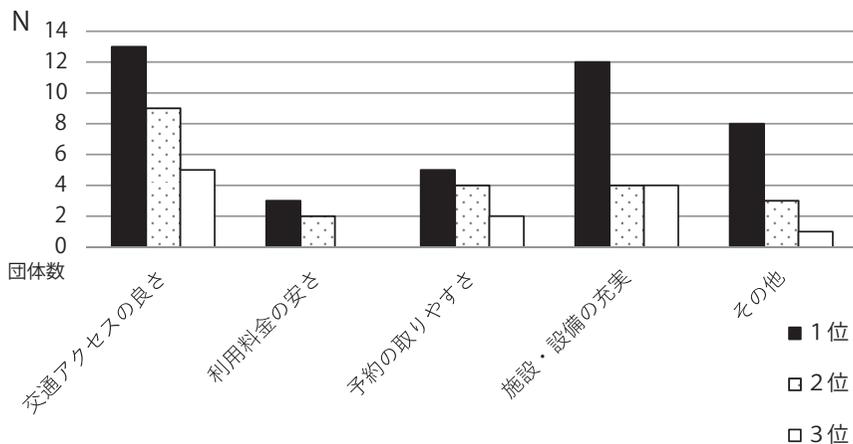


図3-1-2 今度希望する施設の理由

3. 2 スポーツ少年団

①スポーツ少年団の特性

今回、回答が得られた114のスポーツ少年団は、学校施設や地域にある公民館等の施設などを拠点にして活動しており、表3-2-1は、スポーツ少年団に所属している団員の学校の所属区分を示している。小学生が単独46.5%、中学生が単独21.9%、小・中合同が21.9%であった。基本的にスポーツ少年団とは高校生までを対象にしたプログラムであるが、小学生が中心に活動されているのが現状である。その規模は、スポーツ少年団の所属している人数が、10人～49人が85.1%を占め、10人未満が10.5%と少人数の団も見受けられた。

また、中学校の部活動の活動形態として部活動後にスポーツ少年団という形態で活動を継続しているところもあり、中学生のスポーツ少年団としての単独利用の数値に表れているものと考えられる。

表3-2-1 市町別からみた所属区分

利用施設市町	所属者区分				合計
	小学生	中学生	小中学生	小中高生	
盛岡市	22	2	10	6	40
	55.0%	5.0%	25.0%	15.0%	100.0%
八幡平市	5	3	1	3	12
	41.7%	25.0%	8.3%	25.0%	100.0%
雫石町	7	5	6	1	19
	36.8%	26.3%	31.6%	5.3%	100.0%
葛巻町	3	2	1		6
	50.0%	33.3%	16.7%		100.0%
岩手町	3		3		6
	50.0%		50.0%		100.0%
紫波町	8	5	1	1	15
	53.3%	33.3%	6.7%	6.7%	100.0%
矢巾町	5	8	3		16
	31.3%	50.0%	18.8%		100.0%
合計	53	25	25	11	114
	46.5%	21.9%	21.9%	9.6%	100.0%

図3-2-1は、スポーツ少年団の所属者の市町を表している。団員が複数の市町に居住があるスポーツ少年団は114団中12であり、同じ市町の居住者で活動している。

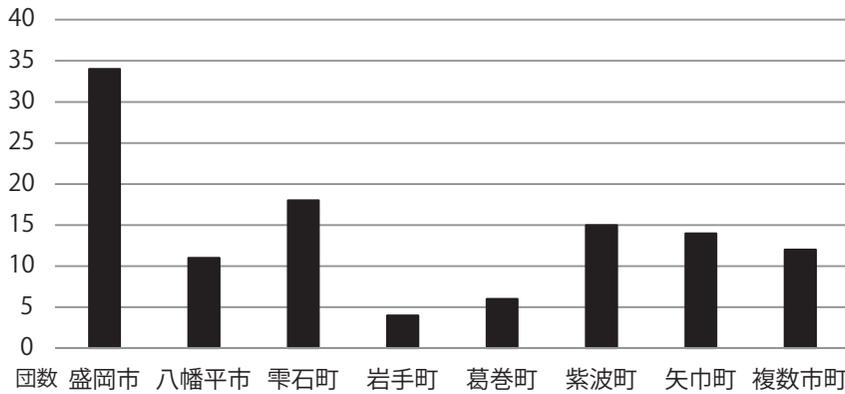


図3-2-1 居住地からみたスポーツ少年団 N=114

②活動拠点として利用している施設の利用状況

表3-2-2は、活動種目であり、野球が多く、(学童野球や軟式野球を含む)、野球についてバレーボール、空手道のスポーツ少年団が多かった。

表3-2-2 活動種目 (N=144)

種目	度数	%	種目	度数	%
野球	22	19.3%	アルペンスキー	2	1.8%
バレーボール	13	11.4%	水泳	2	1.8%
ミニバスケットボール	9	7.9%	相撲	2	1.8%
空手道	9	7.9%	複合	2	1.8%
サッカー	6	5.3%	カーリング	1	0.9%
ソフトテニス	6	5.3%	スキー・クロカン・アルペン・ジャンプ	1	0.9%
剣道	6	5.3%	スケート	1	0.9%
柔道	6	5.3%	なぎなた	1	0.9%
バスケットボール	4	3.5%	弓道	1	0.9%
ホッケー	4	3.5%	柔剣道	1	0.9%
クロスカントリースキー	3	2.6%	少林寺拳法	1	0.9%
バドミントン	3	2.6%	新体操	1	0.9%
ハンドボール	3	2.6%	卓球	1	0.9%
ラグビー	3	2.6%	合計	114	100.0%

また、拠点としている施設の利用目的では、93.9%が練習であり、利用頻度は73.7%が「週に数回程度」の利用であった(図3-2-2, 表3-2-3)。

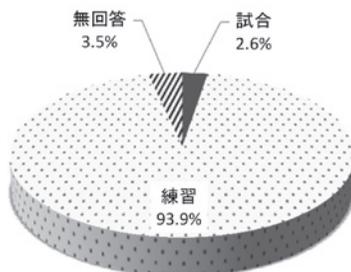


図3-2-2 施設利用目的 N-114

表3-2-3から、使用施設の利用が、希望する日や時間帯に利用することができるか聞いた結果、「できている」が59.8%、「概ねできている」が34.8%で、合わせて94.6%が希望通りに利用できていることがわかった。

表3-2-3 利用施設市町と利用希望

利用施設市町	利用希望				合計
	できている	概ねできている	あまりできていない	無回答	
盛岡市	20	16	3	1	40
	50.0%	40.0%	7.5%	2.5%	100.0%
八幡平市	7	5	0	0	12
	58.3%	41.7%	0.0%	0.0%	100.0%
雫石町	14	4	0	1	19
	73.7%	21.1%	0.0%	5.3%	100.0%
岩手町	5	1	0	0	6
	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	100.0%
葛巻町	6	0	0	0	6
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
紫波町	6	8	1	0	15
	40.0%	53.3%	6.7%	0.0%	100.0%
矢巾町	9	5	2	0	16
	56.3%	31.3%	12.5%	0.0%	100.0%
合計	67	39	6	2	114
	58.8%	34.2%	5.3%	1.8%	100.0%

③スポーツ少年団の他のスポーツ施設利用

表3-2-4 施設利用した頻度が高い順と地元利用率 スポーツ少年団

利用施設市町	利用頻度1位		利用頻度2位		利用頻度3位		利用頻度4位		利用頻度5位		利用頻度6位		合計	
	利用施設	地元利用率	利用施設	地元利用率	利用施設	地元利用率	利用施設	地元利用率	利用施設	地元利用率	利用施設	地元利用率	利用施設	地元利用率
盛岡市	29	82.9%	16	69.6%	6	46.2%	8	100.0%	4	57.1%	1	16.7%	64(92)	69.6%
八幡平市	10	90.9%	6	66.7%	5	71.4%	4	100.0%	2	100.0%	1	50.0%	28(35)	80.0%
雫石町	10	58.8%	6	54.5%	3	33.3%	3	60.0%	1	50.0%	0	0.0%	23(45)	51.1%
葛巻町	4	66.7%	3	60.0%	1	33.3%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	9(17)	52.9%
岩手町	5	83.3%	3	60.0%	1	25.0%	1	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	10(22)	45.5%
紫波町	9	41.7%	3	42.9%	2	50.0%	1	33.3%	0	0.0%	0	0.0%	15(30)	50.0%
矢巾町	7	43.8%	7	53.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	14(41)	34.1%

()内は回答した全スポーツ少年団数

表3-2-4は、1年以内に盛岡広域圏内におけるスポーツ施設の中で利用したことがある施設(別表)を利用頻度が高い順(第6位まで)に、その順位ごとにスポーツ少年団が所在地のスポーツ施設を利用した施設数(団体数)と所在地のスポーツ少年団の利用率(地元利用率)を示している。すなわち、盛岡市に所在するスポーツ少年団が第1位の利用頻度として29団体(施設数)があり、第1位として盛岡市の施設を利用した全スポーツ少年団数のうち82.9%(N=29)が盛岡市の施設を使ったこと(地元利用率)を示している。第1位では地元利用率で八幡平市(90.9%)、岩手町(83.3%)、盛岡市(82.9%)と高い値を示していた。合計では、八幡平市(80.0%)、盛岡市(69.6%)のスポーツ少年団の地元利用率が高かった。

今回の調査の対象施設に小・中学校のグラウンドや体育や地域の公民館等が入っていない関係で地元利用率に何らかの影響が入ったものと考えている。スポーツ少年団は、基本的に小・中学校の施設を利用拠点にしている場合が多く、この点が今回の調査研究では考慮されていないことが限界でもあった。

図3-2-3は、利用するスポーツ施設を選ぶ際に重視すること「交通のアクセス」「利用料金」「予約の取りやすさ」「施設・設備の充実」「使いやすさ」「魅力的な教室等」の6つの項目から3つまで選択し、優先順位が高い順に回答していただいた結果である。優先順位の1番目では「交通のアクセス」、2番目では「利用料金」、3番目では「予約の取りやすさ」がその順位では多かった。スポーツ少年団は、一部を除いて小学校や中学校区の地域(居住地域)と密接に絡んだ活動をしており、子供達の通いやすさが重要な視点である。

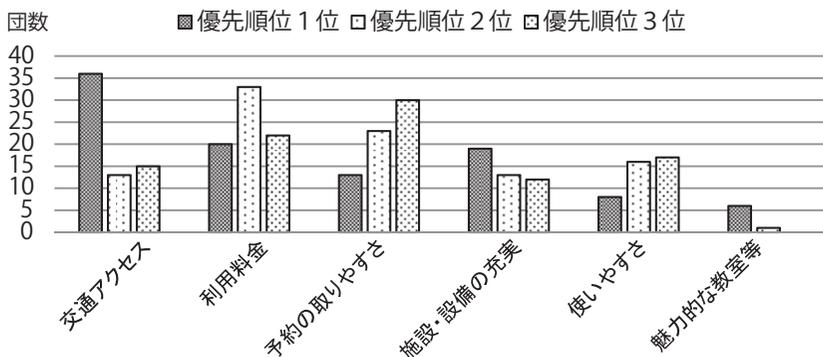


図3-2-3 選択する場合の優先順位

3. 3 団体・グループ

① 団体・グループの特性

団体・グループの調査では、回答は571票が回収されたが、同じ団体・グループのメンバーが回答していた場合があり、団体・グループとして精査した結果、表3-3-1の通り248団体・グループとなり、全体でクラブ・サークル48.4%、学校19.4%であった（表3-3-2）。総合型地域スポーツクラブ区分では、正式に登録されていない団体・グループもマークしていたので正確ではない数値であった。この回答においてそれぞれがどの区分に入っているかが主観的な判断で回答されていたと考えられる。

表3-3-1 調査回答団体・グループ内訳

	利用施設市町								合計
	盛岡市	八幡平市	滝沢市	雫石町	岩手町	葛巻町	紫波町	矢巾町	
団体・グループ数	115	1	74	13	1	11	17	16	248

表3-3-2 利用施設市町と団体・グループの区分

		利用者区分							合計	
		総合型地域スポーツクラブ	クラブ・サークル	学校 (PTA活動 部活動含む)	町内会・ 自治会	職場	家族や知 人・友人 の集まり	その他		無回答
利用施設市町	盛岡市	6 5.2%	62 53.9%	22 19.1%		5 4.3%		18 15.7%	2 1.7%	115 100.0%
	八幡平市			1 100.0%						1 100.0%
	滝沢市	6 8.1%	34 45.9%	14 18.9%	3 4.1%	9 12.2%	4 5.4%	2 2.7%	2 2.7%	74 100.0%
	雫石町	1 7.7%	7 53.8%	2 15.4%		1 7.7%	2 15.4%			13 100.0%
	岩手町					1 100.0%				1 100.0%
	葛巻町		3 27.3%	6 54.5%			1 9.1%	1 9.1%		11 100.0%
	紫波町	1 5.9%	9 52.9%	3 17.6%		1 5.9%		3 17.6%		17 100.0%
	矢巾町	11 68.8%	5 31.3%					0 0.0%		16 100.0%
合計	25 10.1%	120 48.4%	48 19.4%	3 1.2%	17 6.9%	7 2.8%	24 9.7%	4 1.6%	248 100.0%	

②今回利用した施設の利用状況

表3-3-3は、今回の施設利用の目的の中で実施した種目等である。

表3-3-3 施設を利用して実施した内容

種目	度数	種目	度数	種目	度数	種目	度数
ソフトテニス	34	バレーボール	4	アジリティ ストレNGTHス	1	会議	1
テニス	23	ハンドボール	3	いきいき100才体操	1	格闘技	1
サッカー	19	競泳	3	カーリング	1	弓道	1
フットサル	19	合気道	3	キックボクシング	1	軽体操	1
野球	17	エアロビック	2	セミナー	1	健康体操	1
水泳	15	グランドゴルフ	2	ジャグリング	1	合同合宿	1
卓球	12	さんさ踊り	2	ジャズダンス	1	少林寺拳法	1
ソフトバレーボール	10	ダンス	2	スポーツウェルネス吹矢活動	1	杖道	1
バスケットボール	9	ドローン	2	ソフトボール	1	新体操	1
剣道	8	なぎなた	2	バウンドテニス	1	染色	1
バドミントン	7	ヨガ	2	バトントワリング	1	体育指導	1
太極拳	6	空手	2	ミニバスケットボール	1	体力づくり	1
柔道	4	体操	2	ラグビー	1	木彫	1
陸上競技	4	アクアビクス	1	運動会	1	その他	2

合計 248

図3-3-1は施設利用の目的であり、練習72.6%、試合14.1%、その他（会議やセミナー等）11.3%であった。団体・グループの利用では練習のために利用していたが、競技的組織の団体は、試合やセミナー等の事業目的で利用していることも捉えられた。

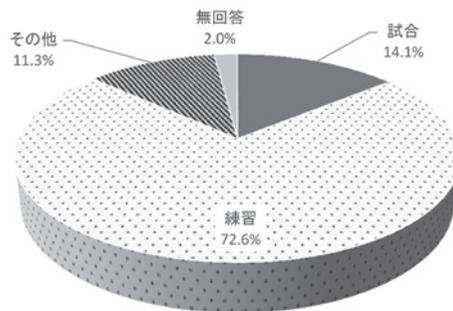


図3-3-1 施設利用目的 N=248

表3-3-4は利用施設市町と団体・グループの利用頻度の結果である。全体で週数回程度27.0%、週に1回程度31.5%と57.5%が週1回以上の定期的な利用状況が読み取れた。また月に数回程度まで捉えると74.9%もの団体・グループが1年を通じて施設の利用をしていた。

図3-3-4 利用施設市町と利用頻度

	利用頻度						合計
	週に数回程度	週に1回程度	月に数回程度	年に数回程度	今回が初めて	その他	
利用施設市町							
盛岡市	30 26.1%	37 32.2%	16 13.9%	23 20.0%	4 3.5%	5 4.3%	115 100.0%
八幡平市			1 100.0%				1 100.0%
滝沢市	15 20.3%	23 31.1%	21 28.4%	9 12.2%	3 4.1%	3 4.1%	74 100.0%
雫石町	5 38.5%	4 30.8%	2 15.4%	1 7.7%		1 7.7%	13 100.0%
葛巻町	4 36.4%	1 9.1%		3 27.3%	3 27.3%		11 100.0%
岩手町				1 100.0%			1 100.0%
紫波町	7 41.2%	6 35.3%	1 5.9%	2 11.8%		1 5.9%	17 100.0%
矢巾町	6 37.5%	7 43.8%	3 18.8%				16 100.0%
合計	67 27.0%	78 31.5%	44 17.7%	39 15.7%	10 4.0%	10 4.0%	248 100.0%

図3-3-5 利用施設市町と利用日・時間帯

	利用時間帯				合計
	できている	概ねできている	あまりできていない	無回答	
利用施設市町					
盛岡市	80 69.6%	31 27.0%	4 3.5%		115 100.0%
八幡平市		1 100.0%			1 100.0%
滝沢市	30 40.5%	33 44.6%	10 13.5%	1 1.4%	74 100.0%
雫石町	10 76.9%	2 15.4%	1 7.7%		13 100.0%
葛巻町	9 81.8%	2 18.2%			11 100.0%
岩手町	1 100.0%				1 100.0%
紫波町	7 41.2%	10 58.8%			17 100.0%
矢巾町	13 81.3%	3 18.8%			16 100.0%
合計	150 60.5%	82 33.1%	15 6.0%	1 .4%	248 100.0%

表3-3-5は利用施設が希望日や時間帯に利用できているかを伺った結果である。各利用市町の施設では「できている(60.5%)」「概ねできている(33.1%)」が合わせて93.6%であり、おおむね利用日や時間帯にできている実態がわかる。

表3-3-6は、1年以内に、盛岡広域圏内におけるスポーツ施設の中で利用したことがある施設を利用頻度が高い順(第6位まで)に、その順位ごとに団体・グループが所在地のスポーツ施設を利用した施設数(団体数)と所在地の団体・グループの利用率(地元利用率)を示している。例えば、「利用施設数」とは、盛岡市の施設を利用した団体・グループが1位に選んだ施設のうち盛岡市内の施設を選んだ団体・グループの数を示し、その割合(全体の施設を選択したなかで今回利用施設所在地の施設を選択した割合)が「地元利用率」とした。

この結果から利用頻度1位では、盛岡市・滝沢市以外は回答数が少ないが、今回、団体・グループが利用した市町の施設を普段からよく利用していることがわかる。全体からみると、葛巻町18.2%、紫波町28.6%と地元利用率が低い傾向があった。

図3-3-6 施設利用した頻度が高い順と地元利用率 団体・グループ

		利用頻度1位		利用頻度2位		利用頻度3位		利用頻度4位		利用頻度5位		利用頻度6位		合計	
		利用施設	地元利用率	利用施設	地元利用率	利用施設	地元利用率	利用施設	地元利用率	利用施設	地元利用率	利用施設	地元利用率	利用施設	地元利用率
利用施設市町	盛岡市	82	88.2%	46	73.0%	31	75.6%	25	80.6%	17	68.0%	11	55.0%	212(273)	77.7%
	八幡平市	1	100.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2(2)	100.0%
	滝沢市	40	70.2%	23	54.8%	23	67.6%	11	55.0%	7	46.7%	4	40.0%	108(178)	60.7%
	雫石町	6	60.0%	2	28.6%	2	40.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	10(23)	43.5%
	葛巻町	4	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4(22)	18.2%
	岩手町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0(1)	0.0%
	紫波町	10	62.5%	3	27.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%	0	0.0%	14(49)	28.6%
	矢巾町	12	92.3%	1	50.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	14(16)	87.5%

()内は回答した全団体・グループ数

図3-3-2は、利用するスポーツ施設を選ぶ際に重視することを「交通アクセス」「利用料金」「予約の取りやすさ」「施設・設備の充実」「使いやすさ」「魅力的な教室等」「その他」の7つの項目から3つまで優先順位をつけて選択された結果である。

優先順位1位では、「交通のアクセス」、優先順位2位では、「利用料金」、優先順位3位では、「使いやすさ」が挙げられていた。この結果から、選択している基準が「交通のアクセス」「利用料金」「使いやすさ」が上位の選択基準になっていると考えられた。

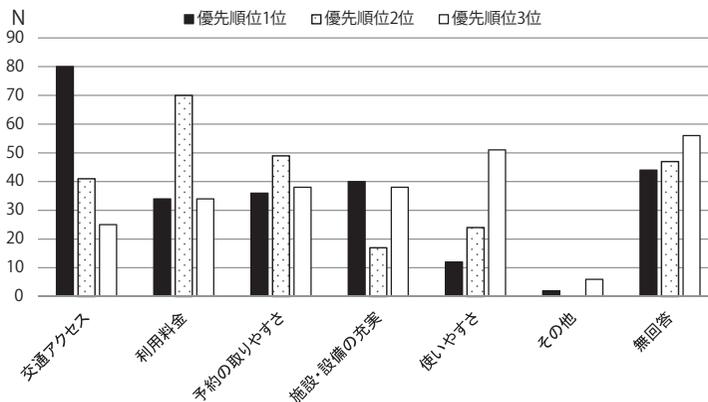


図3-3-2 選択する場合の順位

3. 4 個人利用者

①個人利用者の特性

各施設における個人利用者の調査結果である。742名の利用者から回答が得られ、表3-4-1は回答者のプロフィール、表3-4-2は性別と居住地、表3-4-3は居住地と通学・通勤地をクロス集計したものである。回答者は男女ほぼ同数であり、各世代から回答が得られていた。また、通学・通勤では滝沢市46.1%、矢巾町33.3%、雫石町26.7%と盛岡への移動者が多い傾向が見られた。

図3-4-1 回答者のプロフィール

		年代									合計
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	無回答	
性別	男性	61 16.1%	51 13.5%	46 12.2%	77 20.4%	33 8.7%	65 17.2%	36 9.5%	5 1.3%	4 1.1%	378 100.0%
	女性	52 14.6%	27 7.6%	56 15.7%	72 20.2%	55 15.4%	65 18.3%	26 7.3%	2 .6%	1 .3%	356 100.0%
	無回答	3 37.5%	1 12.5%	2 25.0%			1 12.5%		1 12.5%		8 100.0%
合計		116 15.6%	79 10.6%	104 14.0%	149 20.1%	88 11.9%	131 17.7%	62 8.4%	8 1.1%	5 .7%	742 100.0%

図3-4-2 性別と居住地

		居住地								合計	
		盛岡市	八幡平市	滝沢市	雫石町	葛巻町	岩手町	紫波町	矢巾町		その他
性別	男性	162 43.0%	37 9.8%	68 18.0%	11 2.9%	2 .5%	11 2.9%	22 5.8%	44 11.7%	20 5.3%	377 100.0%
	女性	227 63.8%	3 .8%	39 11.0%	5 1.4%	2 .6%	26 7.3%	17 4.8%	19 5.3%	18 5.1%	356 100.0%
	無回答	4 50.0%					1 12.5%		2 25.0%	1 12.5%	8 100.0%
合計		393 53.0%	40 5.4%	107 14.4%	16 2.2%	4 .5%	38 5.1%	39 5.3%	65 8.8%	39 5.3%	741 100.0%

図3-4-3 居住地と通学・通勤先

居住地		通学・通勤先								合計	
		盛岡市	八幡平市	滝沢市	雫石町	葛巻町	岩手町	紫波町	矢巾町		その他
居住地	盛岡市	291 85.1%	2 .6%	8 2.3%	4 1.2%		2 .6%	4 1.2%	6 1.8%	25 7.3%	342 100.0%
	八幡平市	3 7.5%	35 87.5%	1 2.5%						1 2.5%	40 100.0%
	滝沢市	47 46.1%		28 27.5%			1 1.0%		1 1.0%	17 16.7%	102 100.0%
	雫石町	4 26.7%		1 6.7%	8 53.3%	0 0.0%	0 0.0%			2 13.3%	15 100.0%
	葛巻町					4 100.0%					4 100.0%
	岩手町	1 5.3%	1 5.3%	1 5.3%			13 68.4%			3 15.8%	19 100.0%
	紫波町	4 11.1%						25 69.4%	2 5.6%	5 13.9%	36 100.0%
	矢巾町	21 33.3%			2 3.2%			3 4.8%	27 42.9%	10 15.9%	63 100.0%
	その他	3 8.1%								34 91.9%	37 100.0%
	合計		374 56.8%	38 5.8%	39 5.9%	22 3.3%	4 .6%	16 2.4%	32 4.9%	36 5.5%	97 14.7%

②今回利用していた施設

表3-4-4から個人利用者の多くは、居住地にある施設を利用していることが伺えた。矢巾町64.6%、紫波町76.9%と地元利用率が少し低く、数は少ないが盛岡市や両町同士の利用傾向があるように見られた。

図3-4-4 居住地と利用施設市町

居住地	利用施設市町								合計
	盛岡市	八幡平市	滝沢市	雫石町	葛巻町	岩手町	紫波町	矢巾町	
盛岡市	353 89.8%		23 5.9%	6 1.5%		1 0.3%	3 0.8%	7 1.8%	393 100.0%
八幡平市	3 7.5%	34 85.0%	2 5.0%			1 2.5%			40 100.0%
滝沢市	18 16.8%		88 82.2%	1 0.9%					107 100.0%
雫石町	1 6.3%		1 6.3%	14 87.5%					16 100.0%
葛巻町					4 100.0%				4 100.0%
岩手町	2 5.3%		1 2.6%			35 92.1%			38 100.0%
紫波町	5 12.8%		1 2.6%				30 76.9%	3 7.7%	39 100.0%
矢巾町	19 29.2%			2 3.1%			2 3.1%	42 64.6%	65 100.0%
その他	36 92.3%	0.0%	0.0%	1 2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	2 5.1%	39 100.0%
合計	437	34	116	24	4	37	35	54	741

表3-4-5は利用頻度を利用した施設の市町とクロス集計された結果である。全体の利用頻度は週1回程度29.4%、週に数回程度28.7%、月に数回程度21.6%と様々な頻度で利用していることが伺えるが、市町によってその割合が違うことが分かる。個人利用には、料金設定や予約ができなかったりと利用施設の特性によって利用状況が異なったり、利用頻度にも何らかの影響が考えられた。

図3-4-5 利用施設市町と利用頻度

利用施設市町	利用頻度						合計
	週に数回程度	週に1回程度	月に数回程度	年に数回程度	今回が初めて	その他	
盛岡市	80 18.5%	159 36.8%	94 21.8%	64 14.8%	22 5.1%	13 3.0%	432 100.0%
八幡平市	16 50.0%	4 12.5%	2 6.3%	7 21.9%	3 9.4%		32 100.0%
滝沢市	40 34.2%	21 17.9%	29 24.8%	16 13.7%	8 6.8%	3 2.6%	117 100.0%
雫石町	6 26.1%	5 21.7%	9 39.1%	2 8.7%		1 4.3%	23 100.0%
葛巻町	3 75.0%		1 25.0%				4 100.0%
岩手町	28 77.8%	3 8.3%	2 5.6%	1 2.8%		2 5.6%	36 100.0%
紫波町	8 23.5%	10 29.4%	11 32.4%	4 11.8%		1 2.9%	34 100.0%
矢巾町	29 53.7%	13 24.1%	10 18.5%	1 1.9%	1 1.9%		54 100.0%
合計	210 28.7%	215 29.4%	158 21.6%	95 13.0%	34 4.6%	20 2.7%	732 100.0%

表3-4-6と表3-4-7は利用施設・所要時間と交通手段をクロス集計した結果である。どの施設の利用者も自動車での移動が圧倒的であり、所要時間に関係ないことが分かった。まさにこの広域圏が車社会である所以である。

図3-4-6 利用施設市町と交通手段

	交通手段						合計	
	徒歩	自転車	バイク	公共交通機関	自動車	その他		
利用施設市町	盛岡市	26	38		9	361	3	437
		5.9%	8.7%		2.1%	82.6%	.7%	100.0%
	八幡平市	15	1			18		34
		44.1%	2.9%			52.9%		100.0%
	滝沢市	2	5			110		117
		1.7%	4.3%			94.0%		100.0%
	雫石町	2	1			19	1	23
		8.7%	4.3%			82.6%	4.3%	100.0%
	葛巻町	2				1	1	4
50.0%					25.0%	25.0%	100.0%	
岩手町	5	3	0		29		37	
	13.5%	8.1%	0.0%		78.4%		100.0%	
紫波町	4	5	1		25		35	
	11.4%	14.3%	2.9%		71.4%		100.0%	
矢巾町	6	6	0		41		53	
	11.3%	11.3%	0.0%		77.4%		100.0%	
合計	62	59	1	9	604	5	740	
	8.4%	8.0%	.1%	1.2%	81.6%	.7%	100.0%	

図3-4-7 所要時間と交通手段

	交通手段						合計	
	徒歩	自転車	バイク	公共交通機関	自動車	その他		
所要時間	10分以内	11	12	1	1	223	2	250
		4.4%	4.8%	.4%	.4%	89.2%	.8%	100.0%
	11分～30分	23	25		4	208		260
		8.8%	9.6%		1.5%	80.0%		100.0%
	1時間1分以上				1	25		29
					3.4%	86.2%		100.0%
	31分～1時間	10	3		2	36		51
19.6%		5.9%		3.9%	70.6%		100.0%	
無回答	15	19		1	112	3	150	
	10.0%	12.7%		.7%	74.7%	2.0%	100.0%	
合計	62	59	1	9	604	5	740	
	8.4%	8.0%	.1%	1.2%	81.6%	.7%	100.0%	

表3-4-8は、利用施設からみた施設における手続きに関して伺ったものである。利用手続きが市町によって違いは見られたが、「とても簡単」「簡単」「普通」と捉えていた。概ね利用者はあまり手続きが負担となっていないようである。

図3-4-8 利用施設市町と利用手続き

		利用手続き					合計
		とても簡単	簡単	普通	やや面倒	面倒	
利用施設市町	盛岡市	134	123	130	11	3	401
		33.4%	30.7%	32.4%	2.7%	.7%	100.0%
	八幡平市	18	6	7	2		33
		54.5%	18.2%	21.2%	6.1%		100.0%
	滝沢市	60	46	7	4		117
		51.3%	39.3%	6.0%	3.4%		100.0%
	雫石町	18	4			1	23
		78.3%	17.4%			4.3%	100.0%
	葛巻町	3	1				4
75.0%		25.0%				100.0%	
岩手町	16	13	6			35	
	45.7%	37.1%	17.1%			100.0%	
紫波町	10	18	7			35	
	28.6%	51.4%	20.0%			100.0%	
矢巾町	35	16	2			53	
	66.0%	30.2%	3.8%			100.0%	
合計	294	227	159	17	4	701	
	41.9%	32.4%	22.7%	2.4%	.6%	100.0%	

表3-4-9は、利用の時間帯が利用できているか伺った結果である。全体で、「できている(66.6%)」、「概ねできている(26.8%)」であり、90%以上の方が利用できていると回答していた。

図3-4-9 利用施設市町と希望時間帯

		希望時間帯				合計
		できている	概ねできている	あまりできていない	その他	
利用施設市町	盛岡市	240	112	25	16	393
		61.1%	28.5%	6.4%	4.1%	100.0%
	八幡平市	26	6	1		33
		78.8%	18.2%	3.0%		100.0%
	滝沢市	80	35	1	1	117
		68.4%	29.9%	.9%	.9%	100.0%
	雫石町	20	3		1	24
		83.3%	12.5%		4.2%	100.0%
	葛巻町	4				4
100.0%					100.0%	
岩手町	27	8			35	
	77.1%	22.9%			100.0%	
紫波町	25	9	1		35	
	71.4%	25.7%	2.9%		100.0%	
矢巾町	40	13			53	
	75.5%	24.5%			100.0%	
合計	462	186	28	18	694	
	66.6%	26.8%	4.0%	2.6%	100.0%	

③スポーツ施設の利用状況

表3-4-10は、1年以内に、盛岡広域圏内におけるスポーツ施設の中で利用したことがあ

る施設を利用頻度が高い順（第6位まで）に、その順位ごとに個人が所在地のスポーツ施設を利用した施設数（個人数）と所在地の個人の利用率（地元利用率）を示している。例えば、「利用施設数」とは、盛岡市居住の人が1位に選んだ施設のうち盛岡市内の施設を選んだ人の数を示し、その割合（全体の施設を選択したなかで地元を選択した割合）が「地元利用率」とした。この結果は、表3-4-4の地元施設市町の結果とも相関し、個人利用者が地元の施設を利用し、その割合も高いということがわかる。全体からみると、矢巾町27.5%、雫石町41.7%、紫波町41.8%と地元利用率が低い傾向があった。盛岡市に交通アクセスが良く、他市町の施設に対して利用ニーズがあることが予想される。どのような利用ニーズがあるか今後の検討が必要である。

図3-4-10 施設利用した頻度が高い順と地元利用率 個人

		利用頻度1位		利用頻度2位		利用頻度3位		利用頻度4位		利用頻度5位		利用頻度6位		合計	
		利用施設	地元利用率	利用施設	地元利用率	利用施設	地元利用率	利用施設	地元利用率	利用施設	地元利用率	利用施設	地元利用率	利用施設	地元利用率
利用施設市町	盛岡市	246	90.8%	117	62.6%	107	83.6%	46	74.2%	28	77.8%	22	88.0%	566(709)	79.8%
	八幡平市	28	87.5%	9	64.3%	7	70.0%	4	66.7%			2	66.7%	50(68)	73.5%
	滝沢市	66	77.6%	25	45.5%	15	44.1%	9	39.1%	4	33.3%	1	10.0%	120(219)	54.8%
	雫石町	7	63.6%	2	28.6%	1	33.3%							10(24)	41.7%
	葛巻町	3	75.0%	4	100.0%	1	100.0%							8(9)	88.9%
	岩手町	9	69.2%	6	75.0%	3	60.0%	1	33.3%					19(32)	59.4%
	紫波町	16	51.6%	13	46.4%	6	31.6%	3	37.5%					38(91)	41.8%
	矢巾町	23	48.9%	2	7.1%	1	7.1%	2	25.0%					28(102)	27.5%

()内は回答された全個人数

図3-4-1は、利用するスポーツ施設を選ぶ際に重視することを「交通アクセス」「利用料金」「予約の取りやすさ」「施設・設備の充実」「使いやすさ」「魅力的な教室等」「その他」の7つの項目から3つまで優先順位をつけて選択された結果である。優先順位1位では、「交通のアクセス」「利用料金」、優先順位2位では、「利用料金」、優先順位3位では、「使いやすさ」が挙げられていた。この結果から、選択している基準が「交通のアクセス」「利用料金」「使いやすさ」が上位の選択基準になっていると考えられた。

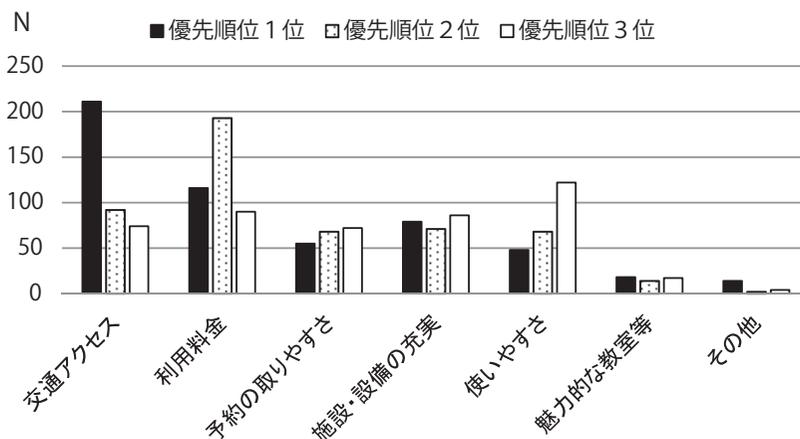


図3-4-1 選択する場合の順位 N=465

4 まとめ

今回の調査対象の4つの利用者（競技団体・スポーツ少年団・団体・個人）に共通した特徴は、地元の施設を主に利用していたことである。各利用者の特性として、競技団体は試合や合宿・研修の利用が主であり、スポーツ少年団は日常の活動の場所として、団体・グループや個人は仲間や家族との練習や楽しみの活動として利用していると思われる。特に、利用を希望している日時や時間帯に対して「できている」「概ねできている」を合わせて、競技団体98.1%、スポーツ少年団93.0%、団体・グループ93.6%、個人93.4%と9割を超えており、大きな不満や齟齬はないと思われる。競技団体は市町を統括している団体であり、上位の県統括競技団体（県協会や連盟）等とは異なる役割や組織規模を有しているが、利用施設に求めている選択の優先度や希望理由では、スポーツ少年団、団体・グループ、個人とは異なり、「交通アクセスの良さ」に加え「競技施設の充実・広さが適当」「施設・設備の充実度」が高かった。また、スポーツ少年団と団体・グループでは、1位「交通アクセスの良さ」、2位「利用料金」、3位「予約の取りやすさ」であり、個人では3位に「使いやすさ」が入っていた。共通な要因は「交通アクセスの良さ」であったが、利用対象の中でも選択する理由に違いも見られた。

以上の結果から、利用対象者の特性によって利用施設の利用がなされ、盛岡広域圏内ではそれぞれの市町を中心に利用が行われており、大きな課題とはなっていないことがわかった。しかし、この結果は、現在利用している団体や個人を対象にしており、長年の既得権的な枠組みが構築されているのではないかと予想される。すなわち、安定して施設の利用ができていたために大きな課題とはなっていないということであり、この枠組みに入っていない団体や個人がどのような状況に置かれているのか今回の調査からはわからない。可能性として、スポーツ振興施策の中でスポーツ実施者が増えない原因の一つかもしれないとも考えられる。まさに、スポーツ施設のストック適正化を検討していく上で、この要因等を含めた検討が必要と考えられる。

当然スポーツの実施には実施するためのスポーツ施設が必要であるが、実際に多くの方が実施した場所に道路や公園などをあげている。さらに、軽度の運動（ウォーキング、散歩、ラジオ体操、体力トレーニング等）も実施した内容としてスポーツ実施者としてカウントされている。スポーツ実施者（率）の調査では、このような実態からスポーツ施設を地域の中でどのように捉えればよいのか検討しなければならない。今後、スポーツ施設のストック適正化の視点において広域性からみたスポーツ施設の在り方の検討は重要であり、住民にとってどのような活動が望まれているのか、あるいは政策的に目指していくのか等に対して明確な方針の柱を持たなければ結論は出ない。広域におけるスポーツ施設のネットワーク化は一つの解決策かもしれないが、利用者目線での検討が重要である。

現在、国ではスポーツ施設に求められているものとして以下の3つのポイントをあげている。

- ①スポーツ施設のフル活用とストックマネジメント
- ②スタジアム・アリーナ改革推進の取り組み
- ③オープンスペースの活用

これらのバランスを取りながら地域性を考慮した施策が今後求められてくるだろう。

別表 調査対象施設

【盛岡市】		【八幡平市】		【雫石町】	
1	盛岡体育館	31	八幡平市西根地区体育館	64	雫石町総合運動公園陸上競技場
2	森加市営野球場	32	八幡平市三ツ森グラウンド	65	雫石町総合運動公園体育館
3	盛岡市太田橋野球場	33	八幡平市総合運動公園多目的運動広場	66	雫石町総合運動公園野球場
4	盛岡市タカヤアリーナ	34	八幡平市総合運動公園野球場	67	雫石町総合運動公園テニスコート
5	盛岡市アイスリンク	35	八幡平市総合運動公園体育館	68	雫石町総合運動公園グラウンドゴルフ場
6	盛岡市立武道館	36	八幡平市松尾テニスコート	69	雫石町営篤宿運動場
7	盛岡市弓道場	37	八幡平市松尾相撲場	70	雫石町営御明神運動場
8	盛岡市太田テニスコート	38	八幡平市松尾柔剣道場	71	雫石町営西山運動場
9	盛岡市綱取スポーツセンター	39	八幡平市松尾B&G海洋センター	72	雫石町営クロスカントリー場「ケッパレランド」
10	盛岡市立総合プール	40	八幡平市松尾総合運動公園多目的運動場	73	雫石町ゲートボール場
11	盛岡市都南中央公園プール	41	八幡平市松尾総合運動公園多目的屋内運動場	114	岩手県営屋内温水プール
12	盛岡市洪民運動公園総合プール	42	八幡平市ラグビー場	【葛巻町】	
13	盛岡市洪民運動公園総合体育館	43	八幡平市鬼清水球技場	74	葛巻町社会体育館
14	盛岡市洪民運動公園野球場	44	八幡平市中山ラグビー場	75	葛巻町総合運動公園
15	盛岡市洪民運動公園陸上競技場	45	八幡平市中山野球場	【岩手町】	
16	盛岡市洪民運動公園屋内相撲場	46	八幡平市安代グラウンド	76	岩手町ホッケー場
17	盛岡市洪民運動公園B&G海洋センタープール	47	八幡平市矢神飛躍台	77	岩手町テニスコート
18	盛岡市立玉山運動場	48	八幡平市田山グラウンド	78	岩手町野球場
19	盛岡市立生出スキー場	49	八幡平市矢神体育館	79	岩手町総合グラウンド
20	盛岡市立松園テニスコート	50	八幡平市安代地区体育館	80	岩手町多目的グラウンド
21	盛岡市立乙部運動広場	51	八幡平市平館ふれあい広場テニスコート	81	岩手町柔剣道場
22	盛岡市屋内ゲートボール場	52	八幡平市田山射撃場	82	岩手町トレーニングセンター
23	盛岡市都南体育館	53	八幡平市田山スキー場	83	岩手町体育館
24	盛岡市飯岡体育館	113	岩手県営スキージャンプ場	84	川口地区社会体育館
25	盛岡市乙部体育館	【滝沢市】		85	岩瀬張地区体育館
26	盛岡市好摩体育館	54	滝沢総合公園体育館	86	岩手町スポーツ文化センター「森のアリーナ」
27	盛岡市立好摩相撲場	55	滝沢総合公園陸上競技場	【紫波町】	
28	盛岡市立好摩テニスコート	56	滝沢総合公園野球場	87	紫波町総合体育館
29	盛岡市立中野運動広場	57	滝沢総合公園テニスコート	88	紫波運動公園
30	盛岡市立つなぎ多目的運動場	58	滝沢市東部体育館	89	紫波町多目的スポーツ施設「サン・ビレッジ紫波」
101	岩手県営運動公園(陸上競技場・サブ舎)	59	滝沢市東部テニスコート	【矢巾町】	
102	岩手県営運動公園(サッカーラグビー場)	60	滝沢市営大釜運動場	90	矢巾町民総合体育館
103	岩手県営運動公園(野球場)	61	滝沢市営小岩井運動場	91	矢巾町屋外運動場
104	岩手県営運動公園(テニスコート)	62	滝沢勤労者体育センター	92	矢巾町総合グラウンド
105	岩手県営運動公園(登はん競技場)	63	滝沢市多目的研修センター	その他(上記施設以外のコミュニティセンター・地区活動センター等)	
106	岩手県営体育館				
107	岩手県営野球場				
108	岩手県営武道館			その他	
109	岩手県営スケート場			201 (上記施設以外の学校・教育施設等)	
110	岩手県立御所湖広域公園漕艇庫				
111	岩手県勤労身体障がい者体育館				
112	ふれあいランド				